

天溪 2020 年「ミルフォードトラックとマウントクック 10 日間」

天溪 2020 年 最初のツアー「ミルフォードトラックとマウントクック 10 日間」を 1 月 15 日～1 月 24 日に行いました。年末からオーストラリアの大規模な山火事が報道されましたが、その煙は 2000km 東方のニュージーランドにも達し、霞みの空を作り、氷河を薄茶色に染めたようです。一方、ニュージーランドはこのころ雨が多かったそうで、河川の氾濫なども起きたとか。私達が訪れたころは天候も落ち着き、ツアーを通して晴れの日続きで、ご機嫌なトレッキングが出来ました。悪天で気温が低かったせいか季節が半月ほど遅れ、この時期は既に散っているマウントクックリリーの花をマッキノン峠付近で数ヶ所発見、また MT.クックビレッジでは随所にコロミコの白花が沢山咲いていました。



(1 月 23 日コロミコの花)

○ミルフォードトラック 2 日目迄

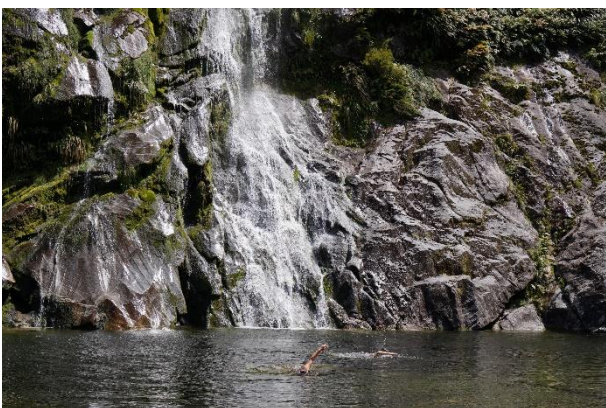
10 月上旬、ミルフォードトラック・ガイドウォークの予約状況をチェックしたら既に満席状態に。しかし、その後キャンセルが出たようで、定員 50 名 (大型バス 1 台分) に対し参加 37 名。何時も大勢参加するニュージーランドやアメリカの人達が殆どおらず何が起きた事やら。おかげでこちらはゆったり部屋が使えて大満足でした。

入山初日、僅か 30 分の道のりを足慣らしとサンドフライ避けの予行演習、そして夕食後は国別に分かれて自己紹介。

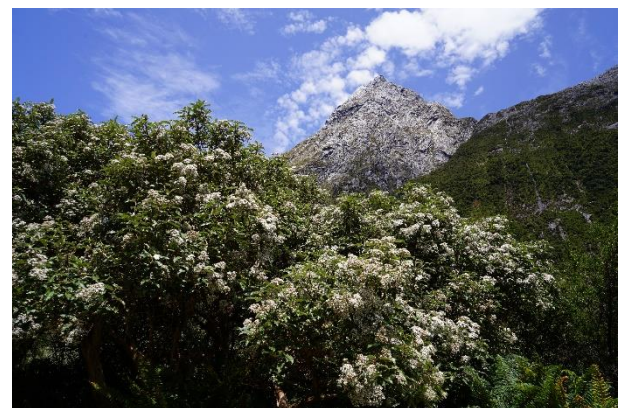
入山 2 日目、深い南極ブナ林に囲まれた原生林を小鳥の囀りを聞きながらヒドゥン・レイクへ。ここは大雪崩が作った小湖で泳ぎが出来るポイント。ここ数年天溪ツアーで泳いだ方はおりませんが、今年は珍しく 2 女性が、しかもクロールが綺麗に決まってオーストラリアの参加者などから拍手喝采でした。



(1 月 18 日クリントン溪谷)



(1月18日 水泳)



(1月18日ランチハット後)

○ミルフォードトラック 3-4日目

入山3日、晴天に越した事は有りませんが、余りに照らされたのか皆様お疲れモード。何時も午4時にはクインティン・ロッチに到着し、サザーランド滝の見物に出かけますが皆様元気無し。とは言え大滝見物に出かけたところ、滝の素晴らしさに大感激。そもそもミルフォードトラックはこの大滝を見物する為に作られたルートです。

入山 4 日、トレック最終日は朝方重めの天候がその後晴れ、巨大なシダに囲まれ恐竜が出そうな原生林を進み、全行程 33.5 マイルを完歩。何時も最終日に行われる完歩賞の授与式が昨年から無く、経費削減かどうか分かりませんがガッカリで、実に残念でした！



(1 月 19 日マッキノンレリーフ)





(1月19日滝)



(1月19日サザーランド滝)

○ミルフォードトラック5日目

5日目最終日、この日はハイキングが無く、観光船でミルフォードサウンド出口のタスマン海まで2時間のクルーズ。このクルーズは一般的なニュージーランド観光ではメイン行事の一つですが、こちらは最終日のおまけみたいなも。今年は本船の前を巨大なクルーズ船が進み、アザラシの群れや大滝などを見ながら旅の余韻に浸りました。

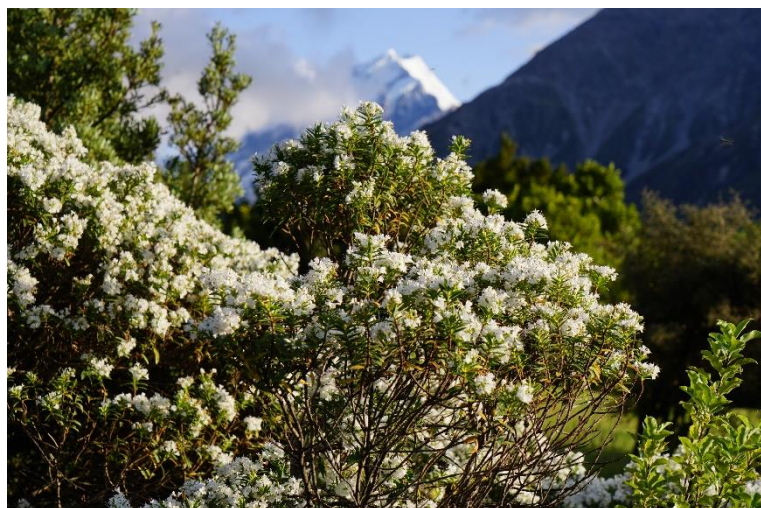


○アオラキ・Mt.クック

麓から Mt.クックが見える晴天率は 30%のようですが、今年も天候の日と言うくらいに晴れ！

山から吹き下ろす乾いた風にしばし閉口しながらフッカーレイクまで往復しました。この所とみに大勢の観光客で賑わうフッカーバレーですが、Mt.セフトンから流れる迫力の氷河やフッカーレイクの湖面に浮かぶセラックの欠片は他では中々見られません。この地域はアオラキ/マウントクック国立公園内に有り原生植物を保護していますが、マタゴウリやホリド・イスパニアードなど鋭い棘の有る植物には要注意、刺すと凄くいたいです。

ツアー中は満点と言って良いほどの景色が楽しめましたが、ただ一つ欠けたのが真っ赤に染まる Mt.クックの夕焼けで、Mt.セフトン方面から流れ出る雲に遮られ見れずに終わってしまいました。



(1月23日マスカの花)



天溪のツアーはここで暫くお休みをいただき、
 6月2日出発 キリマンジャロ登頂とサファリ 11日間、
 6月24日出発 花のスイスアルプス・ハイキング 10日間
 と続きます。